

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
家庭 家庭基礎	2	1年・普通科	必修	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	なし

学習目標	人の一生と家族・家庭と社会、子ども、高齢者福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。 また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。
主な学習内容	・人の一生と家族・家庭と社会 青年期の課題と自立 家族・家庭 ・子育てと高齢者福祉 子どもの発達と保育 高齢期の生活 共生社会と福祉 ・生活の自立及び消費と環境 健康的な食生活 被服管理と着装 住居と住環境 環境問題 消費生活 生活設計 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動
評価の 観点・規準	「関心・意欲・態度」・・・家庭や地域の生活について関心を持ちその充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 「思考・判断・表現」・・・家庭や地域の生活についての課題をみだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し想像する能力を身につけている。 「技能」・・・家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識や技術を身につけている。 「知識・理解」・・・家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価の方法	定期考査にて「思考・判断・表現」「知識・理解」の度合いを判断・評価します。 実習にて「技能」「関心・意欲・態度」の度合いを判断・評価します。 授業への参加状況と取り組みを通して「関心・意欲・態度」の度合いを評価・判断します。 最終的に、以上の観点から総合的に評価します。

学期	内容
1 学期	第1章 人の一生と青年期の課題をみつめよう 「人生とは何か」「青年期の課題と自立」 第2章 家族・家庭と社会について考えよう 「家族とは何か」「家庭の役割」 ----- 第3章 子どもと子育てについて知ろう 「子どもの誕生」「子どもの成長・発達」「子どもが育つ環境」 第4章 高齢者の生活と福祉について考えよう 「高齢期という時期」「高齢社会の現状と課題」 第11章 生活をデザインしよう 「学校家庭クラブ活動」 期末考査
2 学期	第5章 共生社会をつくろう 「生活と社会のセーフティネットワーク」 第8章 健康で快適な衣生活をつくろう 「着ごちのよい被服」「衣生活の計画と管理」 実習 エプロン制作 ----- 第6章 経済生活を設計しよう 「現代の消費生活」「消費者問題の現状と課題」「契約の重要性及び消費者保護の仕組み」 第9章 安全で快適な住生活をつくろう 「住空間の成り立ちと住空間の計画」「健康で安全な住生活」 第10章 持続可能な社会をめざして行動しよう 「環境と調和のとれた生活」「持続可能な社会の実現をめざして」 第11章 生活をデザインしよう 「ホームプロジェクト」 期末考査
3 学期	第7章 生涯の健康を見通した食生活をつくろう 「食生活の成り立ち」「栄養と食品」 実習 調理実習 第11章 生活をデザインしよう 「ライフプランを考えよう」 期末考査

備考	授業態度、考査、授業プリントなどを総合的に評価します。 特に2、3学期は実習やレポートが含まれているため、実習中の態度やレポート内容が評価に加えられます。考査点が高くても態度に問題があったり、レポートの未提出などがあれば大きな影響を与えます。
・講座の特色 ・履修条件 ・注意事項 等	